

JAからのおたより



ごとう

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES



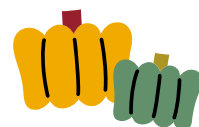
7月号

JA ごと
2010 No 53



CONTENTS 目次

- 2p ・ CONTENTS
・ 表紙 PHOTO 紹介
・ 祝 山田正彦氏農林水産大臣就任
- 3p 第9回通常総代会議案の主な議案について
- 6p 今月のスポット
- 8p ・ 女性部の活動
・ 青年部の活動
- 9p ・ 太陽と緑 五島がうまいの立役者
・ LA 職員紹介
- 10p ・ ご飯をおいしく 食事を楽しく
・ 太陽と緑 五島がうまい
・ JA直営販売 五島の米
- 11p ・ 福江少年少女合唱団 第34回定期演奏会
- 12p 口蹄疫対策実施経過について
- 13p ・ サマーキャンペーン2010
・ 信用事業検定試験 全国表彰
- 14p ・ 旅行センターからのお知らせ
・ 夏期農機自動車大展示会のお知らせ
・ 編集後記



表紙
PHOTO
紹介

上段、左から順に...

- ・ 女性部上五島支部共同購入商品講習会（6月8日）
- ・ 上五島地区支店再編説明会 in 青砂地区（6月8日）
- ・ 五島市立山内小学校田植え（6月18日）
- ・ 富江幼稚園トマト狩り（6月14日）

政治家としてのスタートから、農林水産業の発展に、一生懸命取り組んできた手腕・実績が高く評価されたの大臣昇任は、郷土五島の誇りであり、心からお祝い申し上げます。

日本の農業はもとより、長崎県・五島農業の振興発展のためにも、これまで培われた手腕を大いに発揮されますことをご期待申し上げます。

平成二十二年六月吉日

祝 山田正彦氏 農林水産大臣就任

衆議院議員・山田正彦氏の農林水産大臣就任を心からお祝い申し上げます。

監事

監事

監事

常務理事

代表理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

常務理事

常務理事

代表理事専務

代表理事組合長

中山貞義

萩里浩一

出道廣市

山下安郎

寺田洋子

藤井芳子

阿野文子

吉田繁子

橋下俊行

本谷晴美

松向廣伸

藤原馨

福田広道

出口甚一郎

馬場勝馬

谷合博

下村勝馬

磯口邦雄

山内三弘

麦田幸弘

藤野周一

川野徹

寺脇功

中尾弘一

ごとう農業協同組合

通常総代会議案の 主な議案について

全議案とも可決・承認いただきました。

第1号議案 平成21年度事業報告及び剰余金処分案承認の件

五島農業と主要事業の概要

デフレスパイラルも懸念されるなど、国内経済は低迷を続けました。しかしながら、管内では、子牛価格も回復の兆しを見せ、台風等自然災害も少なく、五島農業にとっては良好な年でした。

ちなみに、農産物価格が低迷する中であって、畜産・畑作の振興と値決め契約による販売に力を入れたことから、今年度の農産物販売高は過去十年来では最高の32億7千万となりました。



総合収支実績



主要事業の取扱量についてはバラツキはありましたが、合理化・効率化に努めた結果、各事業とも収支が計画を上回るとともに、事業管理費が予算内で抑えられたことによって、事業利益で計画対比109百万円増の151百万円となりました。これにより事業管理費率については94.07%に抑えることができました。

また、21年度についても不良債権の回収・流動化が図られ貸倒引当金戻入益・償却債権取立益を計上できるなど特別利益によって、最終的には当期剰余金の計画189百万円を上回る216百万円を計上することができました。剰余金の処分については固定比率の改善や目的積立金の積増し等、付加資本の増強に充てさせていただきます。組合員への配当は、前年度同様の1%の出資配当と、厳しい経済情勢の中、このような決算をすることができたのもひとえに、ご利用いただいた組合員皆様のお陰であると考え、事業利用高に応じた配当・還元(3.5%)を実施させていただきます。

第9年度剰余金処分案

(単位：円) (注) 1. 出資配当は年1%の割合とする。

科目	金額
1 当期末処分剰余金	290,533,950
2 剰余金処分額	230,394,177
(1)利益準備金	100,000,000
(2)任意積立金	80,000,000
(3)出資配当金	19,914,438
(4)事業分量配当金	30,479,739
3 次期繰越剰余金	60,139,773

但し、出資配当は原則として全額を出資予約貯金に振込み、一口に達した場合は出資金に振り替えさせていただきます。

2. 事業分量配当は、肥料、飼料、農薬の取扱高の3.5%とする。

但し、特別配当は原則として全額を回転出資金とさせていただきます。

3. 次期繰越剰余金には、教育、生活・文化改善の費用に充てるための繰越額15,000千円が含まれています。

第2号議案 新中期経営計画設定の件

新中期経営計画の基本テーマ「チャレンジ」

① 農畜産物販売高40億円(24年度末)へのチャレンジ

有利販売やファーマーズ・マーケット等、農家組合員の生産意欲を掻き立てるような販売戦略に力を入れ、計画最終年度での畜産23.4億円、農産園芸16.6億円の販売高実現を目指す。

② 組合員、地域住民、役職員のバランスのとれた3者満足の実現へのチャレンジ

J Aを構成する組合員と利用者である地域住民、そして運営に携わる役員や働いている職員、それぞれの立場で十分に納得できる関わり方・組織の在り方を追求する。

③ 五島市、新上五島町におけるJ Aの存在感と社会的地位確立へのチャレンジ

事業量や職員数等、地域へ与える影響や組織の公的性質を踏まえ、地域社会で信頼される組織としての自覚と誇りを持って組織運営と事業活動に邁進する。

④ 毎期配当可能な安定的利益水準実現へのチャレンジ(事業管理費率95分未満)

独立した経済活動を行う組織であることから安定的な経営を維持していくことは勿論のこと、特に金融機関として求められる財務基盤の強化に引き続き取り組む。

第3号議案 平成22年度事業計画設定の件

1. 経営管理部門

将来に向け経営基盤を磐石なものとするため、財務体質の強化と経営資源(人財、施設、資金)の効率的活用になお一層取り組みます。

2. 営農指導・販売事業

営農指導においては、更なる栽培技術の向上に向け自己研鑽に努め、栽培技術の普及を図る。

さらにJ A直営精米施設からの地場産米の供給と、本年度設置予定のファーマーズ・マーケットへの販売品供給に向け新規品目の推進を行うとともに「地産地消」の取り組みを強化する。また、契約販売品目・契約数量の拡大を図ります。



3. 信用事業

組合員や地域住民の利用者満足度向上を事業運営の出発点とし、地域に愛され、信頼される金融機関を目指します。

4. 共済事業

J A 共済は、「相互扶助」を事業活動の原点とし、組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」を提供し、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、組合員・利用者の豊かな生活づくりに努めます。

5. 生産・生活・店舗事業

多様化する組合員・利用者のニーズに応えうる事業体制と機能を整備、良品適正価格資材の安定供給に努め、地域住民に選ばれる満足度の高い事業を展開する。又、計画購買・配送の効率化等により流通コストの削減を図り、合理的効率的な事業の再構築へ積極的に取組むと共に、担い手、集落営農組織、大規模農家への対応強化に努めます。

(その他の事業は省略)

第8号議案 定款の一部変更の件

変更理由

- ① 農地法等の一部を改正する法律の施行に伴い、J A において農地保有合理化事業が実施できないことにより、所要の変更を行う。
- ② 定款付属書総代選挙規程において、現在の正組合員数を踏まえた総代数の適正な再配分を行うため所要の変更を行う。

変更理由②により変更しようとする新旧定款付属書総代選挙規程抄本

改正後	
選挙区	総代数(人)
福江・奥浦区	30
大津区	23
崎山区	33
久賀区	16
本山・大浜区	50
富江区	46
玉之浦区	21
三井楽区	34
岐宿区	38
山内区	41
若松区	30
青方区	32
上郷区	18
新魚目区	13
北魚目区	24
有川区	51
合計	500

改正前	
選挙区	総代数(人)
福江・奥浦区	30
大津区	24
崎山区	28
久賀区	19
本山・大浜区	50
富江区	47
玉之浦区	24
三井楽区	32
岐宿区	33
山内区	36
若松区	29
青方区	33
上郷区	20
新魚目区	13
北魚目区	25
有川区	57
合計	500

順調な生育で出荷量も平年並 - JAごとう春いんげん出荷目揃会 -



三井楽施設での目揃会

このほど、三井楽地区集荷施設で春いんげん出荷目揃会を行いました。同会では平成二十二年産春いんげん出荷計画、出荷規格などを協議しました。

平成二十二年産春いんげんは二月下旬から三月上旬にかけて種蒔きが行われ、五月から出荷を行ってまいります。低温や日照不足の影響を受け、例年に比べ遅めの出荷となりましたが、その後気候も安定し、順調な生育となっております。

今後、適期収穫や栽培履歴の記帳及び回収を徹底することで、面積拡大や出荷量の増加に取り組む方針です。(六月十九日 日本農業新聞掲載)



平成22年産春いんげん

みんなで力を合わせて - 奥浦小300本の苗さし会 -



いもの苗さしを行う児童

JAごとうの管内である五島市立奥浦小学校では六月四日、全児童五二名と教職員、JA職員などを含めた約六〇名が参加し、平成二十二年度いもの苗さし会を行いました。

同校では昨年より食農教育の一環としてサツマイモの苗さし会を行っています。今年もJAや地域の方々から送られた計三〇〇本の苗を、地域住民から借りた約二〇〇平方メートルの畑に植えました。畑の隣では今後、田植えも予定しており、全ての作業を見学が行います。

今回植えたサツマイモは十一月頃に児童の手で収穫され、一月頃にはこのサツマイモと児童が育てた米を使用して、五島名産のかんころ餅作りを行う予定です。才津律子校長は「サツマイモの苗さしから収穫を経て、かんころ餅を作る一連の活動を通して、地元の食物に興味や関心を抱き、食物を大切に作る気持ちや友達、異学年と協力する態度を養って欲しい」と話しました。

今後、地域と協力しながら食農教育や地産地消に取り組む方針です。(六月十七日 日本農業新聞掲載)

JAをもっと身近に

- 上五島地区支店再編説明会 -



奈摩地区での説明会

六月八日、上五島地区の四箇所(奈摩、青砂、浦桑、丸尾)で上五島地区支店再編についての説明会を行いました。

この再編では金融機関としての機能強化を目的に効率的店舗配置の実現と積極的に出向く渉外活動体制を構築しながら専門性とサービスの向上を図ります。

同説明会では「再編によってどのような農業新興を行うのか」、「再編によって近くに支店がなくなった場合、肥料などの購入はどうなるのか」などの質問がありました。

JAはこうした質問に対し「支店再編がサービスの低下とならないよう最大限の努力をし、様々なサービスの充実を図ります。また、職員が組合員の皆様のところへ出向くことで、従来の窓口でのサービスよりもJAをより身近に感じて頂き、きめ細かいサービスを行ってまいります」と話しました。

JAでは今回の説明会での質問やその回答を取りまとめて配布するなど、今後も組合員の不安解消に努める方針です。(六月二十一日 日本農業新聞掲載)

六月八日、上五島地区の四箇所(奈摩、青砂、浦桑、丸尾)で上五島地区支店再編についての説明会を行いました。

この再編では金融機関としての機能強化を目的に効率的店舗配置の実現と積極的に出向く渉外活動体制を構築しながら専門性とサービスの向上を図ります。

同説明会では「再編によってどのような農業新興を行うのか」、「再編によって近くに支店がなくなった場合、肥料などの購入はどうなるのか」などの質問がありました。

JAはこうした質問に対し「支店再編がサービスの低下とならないよう最大限の努力をし、様々なサービスの充実を図ります。また、職員が組合員の皆様のところへ出向くことで、従来の窓口でのサービスよりもJAをより身近に感じて頂き、きめ細かいサービスを行ってまいります」と話しました。

JAでは今回の説明会での質問やその回答を取りまとめて配布するなど、今後も組合員の不安解消に努める方針です。(六月二十一日 日本農業新聞掲載)

両手いっぱい - 富江幼稚園トマト狩り -

園児たちは赤く実ったトマトを口に頬張りながら収穫し、袋いっぱいに入ったトマトを手に笑顔で「ありがとございました」と農家の方への感謝の気持ちを述べました。（六月二十四日 日本農業新聞掲載）



とりたてのトマトを頬張る園児



トマト狩りの様子

は農家の協力を得て、出荷を終えたハウスの残ったトマトを園児が収穫しました。

富江町青年団体連絡協議会が企画しており、同会の尾崎克厚会長が市役所で農政を担当していた四年前から報道関係者も招いて実施しています。地域の子どものための食農教育と五島の特産物である五島ルビーのメディアを通して宣伝を目的に行っています。収穫を行った富江幼稚園の堤智代子先生は「食べ物元気の源であることや育てた方への感謝の気持ちをこの体験を通して養いたい」と話しました。

富江支店管内では六月十日、富江幼稚園の園児約四〇名がトマト狩りを行いました。このトマト狩りで

五島産銘柄の確立を目指して - 平成22年産夏芽アスパラガス出荷会議 -

平成二十二年産夏芽アスパラガスは四月二十日から五月上旬にかけて立茎を行っており、七月中旬から下旬が出荷のピークとなる見込みです。平成二十一年産夏芽アスパラガスは約五七トの出荷量でしたが、平成二十二年産はそれを上回る約六〇トを目標としています。今後、計画的な生産や出荷を行うことで、市場での五島産アスパラガスの銘柄を確立する方針です。（六月二十二日 日本農業新聞掲載）



平成22年産夏芽アスパラガス出荷会議

場情勢の報告、及び夏芽アスパラガスの出荷計画や出荷規格について協議しました。

六月十五日、平成二十二年産夏芽アスパラガス出荷会議を本店で行いました。同会議には約二五名が出席し、平成二十二年産春芽アスパラガス出荷実績や市場

販売単価平年を上回る - 平成22年産春カボチャ出荷目揃会 -



平成22年産春カボチャ出荷目揃会

六月十八日、平成二十二年産春カボチャ出荷目揃会を崎山地区集荷施設で行いました。同会では、平成二十一年産春カボチャの出荷計画や出荷規格等を確認しました。平成二十二年産春カボチャの出荷は六月中旬から始まり、七月中旬まで行われる予定で、約一九四トの出荷を計画しています。早いところでは二月下旬から定植を行ってききましたが、低温や日照不足の影響で収穫は平年より一週間から十日程度遅れています。また、三月二十七日の霜の影響を受けて収量も平年の一割程度減少してはいるものの、価格は平年より高めで推移しています。そのため、販売単価については平年を上回る見込みです。（六月二十六日 日本農業新聞掲載）

さっぱり料理で夏も元気に - J A ごとう女性部共同購入商品講習会 -

J A ごとう女性部は六月八日、共同購入商品講習会を上五島支部で行いました。同講習会には約二五名が参加し、主に酢を使った料理に挑戦しました。

同講習会では夏を元気に乗り切る料理をテーマとして実習を行い、共同購入商品であるらっきょう酢や五倍酢の他に梅干しを使ったレシピを紹介し、部員間の交流を図りました。参加者は豚ずしやおからサラダ、なすゼリーなど全六品に挑戦し、二つのグループに分かれて互いに協力しながら調理しました。

調理後は完成した料理の試食会も行い、参加者からは「簡単に行ける上にさっぱりしていて夏には最高」と好評でした。

今後女性部は共同購入の促進を図るとともに、こうした活動を通して若い人の参加も促す方針です。



調理した料理の試食会

地域の食材を活かして - 五島市立富江中学校の食農教育 -



おから団子作り

J A ごとう女性部富江支部は六月十八日、富江支店管内にある五島市立富江中学校で「地域の食材を使った料理教室」を行いました。同校の第二学年三一名と教職員、女性部を含めた約四〇名で富江地区の特産物でもある「五島ルビー」を調理しました。

生徒たちは完成した料理を家庭科の時間に作ったランチコンマツトやはし入れと一緒に並べ、試食しました。

試食した生徒たちは「おいしくできてよかった。家でも家族に作ってあげたい」と笑顔で話しました。

今後女性部は料理教室などで地域の食材をアピールしながら、地域の交流を深めていく方針です。



豆腐作り

この料理教室は地域の食材を使うことで親しみを持って調理をし、日常食や地域の食材を生かした調理の工夫ができるようになることを目的として行いました。生徒たちは女性部の指導を受けながら、地元産ルビートマトのミートソース、三井楽地区の大豆を使った豆腐、その豆腐からできたおからを使ったおから団子の全三品を調理しました。

青年部の活動

ふるさとの良さを再発見 - 五島市立山内小学校の田植え -



田植えを行う児童

J A ごとう西部支店管内の五島市立山内小学校では六月十八日、児童による田植えを実施しました。田植えは児童二一名と教職員や保護者、青年部を含めた約三〇名が参加しました。

この田植えは毎年行っており、同校では農業を基幹産業とした地域の現状や地域性を知り、ふるさとの良さを再発見することを目的としています。青年部では、こうした学校の取り組みを支えていこうと、食農教育を兼ねて毎年田植えの指導を行っています。

参加した児童は最初慣れない手つきで田植えを行っていたものの、田んぼの感触を楽しみながら約一時間ほどで田植えを終えました。植えた苗は今後児童の手で稲刈りや脱穀、収穫が行われ、試食会も実施する予定です。

太陽と緑

五島がうまいの立役者

No. ② 南松浦郡新上五島町青方郷

なかむら えいしろう
中村 栄四郎さん(81)
フクさん



中村栄四郎さん

とれたて野菜で朝ごはん



中村さんの畑

中村さんは奥様とお二人でナス、大葱、キュウリ、ブロッコリーなどの野菜を約一〇畝の畑で栽培されています。

農業を始める前は輸送船に乗られていた中村さん。奥様が田んぼを持っていたことをきっかけに退職後、農業を始められたそうです。

毎朝自分達で作った野菜を収穫し、取れたての野菜を使って朝食を作るそうです。「自分達で育てたおいしい野菜を食べた時に農業をしていて良かったと思うよ」と笑顔で話してくださいました。

中村さんは直売所以前の朝市の頃から週に一回、野菜を納入して自分達で野菜を売られていたそうです。現在では直売所に野菜を納入されていて「毎日全ての野菜がなくなっているのは嬉しい」と話してくださいました。地産地消の活動にも大きく貢献されています。



中村さんご夫妻

LA職員紹介



本店
河内 和紀

これまでに購買、広報を担当し、初めてライフアドバイザー（LA）となりました。私にとってもっとも苦手な分野ではありませんが、苦手分野の克服ができると思ってお

り、先輩LAに学びながら頑張っていきたいと思っています。

共済推進を行う上でのモットーは「笑顔」です。「笑顔」で組合員や地域の皆様に接し、共済のひと、いえ、くるま」の情報や、JAの役立つ情報を皆様にお届けしていきたいと思っています。

まだまだ未熟ではありますが、皆様よりしくお願い致します。



上五島支店
白石真希男

四月よりLAとなり、当初は自分にできるのだろうか？という不安で一杯でしたが、先輩LAや支店職員のサポートを頂きながら、共済推進活動

を行っています。

この活動をきっかけに組合員、利用者様とのふれあいの時間が多くとれるようになりました。

訪問先で各種事業の相談・問い合わせを多く受けることがあります。分かりやすく、的確なアドバイスのできるLAになればと思っています。よろしく願います。



楽しく食事を おいしくご飯を

料理研究家 兼 かおる

ご飯 うなたま丼

1人分約721kcal



親子丼の裏技で作ってみましょう。家族の好みによって具材や量を調整させて作れるのが、この丼の良ところです。

作り方

- 1 うなぎのかば焼きは1.5cm幅に切る。タマネギは薄切りにする。しらたきはザクザクと切る。ミツバは2cm長さに切る。
- 2 卵は割りほぐす。
- 3 材料をすべて4等分して親子丼などで1人分ずつ作るか、フライパンなどでまとめて作る。
- 4 Aを煮立て、1のしらたきとタマネギを入れる。タマネギがしんなりしたら、1のかば焼きを入れてさっと煮て、2を流し入れる。ミツバを散らしてふたをし、卵が半熟程度になったら、ご飯に載せる。紅しょうがと木の芽を載せる。

材料 (4人分)

温かいご飯	800g
うなぎのかば焼き	2枚(300g)
タマネギ	1個(200g)
しらたき	1玉(200g)
ミツバ	30g(1パック)
卵	4個
紅しょうが(千切り)	少々
木の芽(なくてもよい)	少々
A	
だし	200ml
砂糖	大さじ1
しょうゆ	大さじ3
酒	大さじ2
みりん	大さじ2



JA直営販売 五島の米

五島の大自然の中で農家の方々が丹精込めて育て上げたお米をJAごとうで検査・精米しました。

五島の味を、是非ご賞味ください。

お問い合わせ先・取扱店は.....

各Aコープ または 各支店・各出張所まで



太陽と緑 五島がうまい

本格麦焼酎「太陽と緑 五島がうまい」は、原料や麹に五島産大麦「ニシノホシ」を100%使用したJAごとうのプライベート・ブランド商品です。

お問い合わせ先・取扱店は.....

各Aコープ または JAごとう経済部JAグリーンまで ☎0959 74 1200



福江少年少女合唱団



第34回 定期演奏会

平成22年 7月18日 日

開場 18:00 開演 18:30

福江文化会館大ホール

入場料 300円

合唱ミュージカル

くいしんぼう ララバイ



〈プログラム〉

- 第1部 たのしい歌
- 第2部 ディズニーの世界
- 第3部 ポピュラー・合同合唱
- 第4部 ミュージカル
くいしんぼうララバイ

●主催 福江少年少女合唱団育成会

●後援 五島市教育委員会・五島市福江文化団体協議会



口蹄疫対策 実施経過について

実施月日	実施内容
平成22年 4月25日	第1回防疫支援対策として1農家に1本消毒液無料配布 (下五島地区牛疫病対策協議会より塩素系消毒薬ハイター) (上五島地区家畜疾病対策協議会より塩素系消毒薬ハイター) (下五島地区豚疾病対策協議会より塩素系消毒薬アンテックビルコン)
平成22年 4月29日	肉用牛部会役員会の開催 ・5月せり市開催の延期を決定 ・防疫対策(消毒)を徹底して行う
平成22年 4月30日	五島市に防疫対策の支援要請を行う(常勤役員・馬場部会長) ・空港及び港における消毒実施(水際対策)の要請 ・市民に対する旅行(南九州)自粛の広報要請 ・せり市開催延期に伴う子牛価格補填事業の条件緩和の要請 福江空港及び各商船会社へ消毒協力の要請
平成22年 5月1日	空港及び港における消毒(水際対策)の実施
平成22年 5月10日	第2回防疫支援対策として1農家に1本消毒液無料配布 (下五島地区牛疫病対策協議会より塩素系消毒薬ハイター) (上五島地区家畜疾病対策協議会より塩素系消毒薬ハイター) (下五島地区豚疾病対策協議会より塩素系消毒薬アンテックビルコン)
平成22年 5月12日	理事会において経営支援策を決定 ・子牛代金販売仮渡しの実施(1頭20万円) ・1頭につき飼料を2俵無料配布
平成22年 5月14日	長崎県JAグループ口蹄疫対策本部より消毒薬(消石灰)の無料配布(400俵)
平成22年 5月17日	五島市に対してアイアンマン開催延期の要請を行う(JA常勤役員・ごとう農協用牛部会長・田尾畜産協同組合理事長)
平成22年 5月24日	五島市長及び五島市議会議長に対してアイアンマン開催延期の要望書提出 ・出席者33名(JA常勤役員・ごとう農協用牛部会各支部正副支部長・田尾畜産理事 事長・坂井ごとう農協養豚会長・畜産担当者)
平成22年 6月2日	第3回防疫支援対策として消毒薬(消石灰・クレンテ)の無料配布 ・消石灰1農家3俵無料配布(ごとう農協より2俵、五島市より1俵) ・消毒薬(クレンテ)を1農家に1kg配布(長崎県より)

畜産農家の皆様へお願い

消毒薬(消石灰)の散布など、出入口付近の消毒の徹底をお願い致します。

ちよきんぎょ
サマーキャンペーン

平成22年6月14日(月)
▼
平成22年8月13日(金)

定期貯金
定期積金
20万円
以上
300万円
まで

店頭金利
プラス
0.2%
上乘せ

預入期間1年のみ

プレゼント!

ちよきんぎょタンブラー
どちらか1個

JAバンク
JAごとう

お問い合わせは
JAごとう金融課
(72)6212まで



浜里和美さん 全国9位!!

JAバンク長崎中期戦略推進大会で試験主催者の(株)協同セミナーから全国表彰を受けている1コマです。

信用事業検定試験 全国表彰!

高度化・多様化する組合員のニーズに適時的確に対応できるよう、JAごとうでは業務種類ごと・階層別の検定試験を受験することで職員のレベルアップを図っております。

このような中、二十一年度実施された第二十六回業務検定試験「貯金・為替業務」において浜里和美さん(本山支店)が合格率二〇割という難関を突破し、全国八二三名中九位の成績で見事合格しました。

おめでとうございます。

2010年 10月11日(月・祝) ▶ 13日(水) 博多港発着

飛鳥IIクルーズ

豪華客船「飛鳥II」で行く山陰 3日間

伝説と古代浪漫を巡る...
出雲・松江・隠岐の島

夢の続きは、秋の日本海クルーズへ



お客様の声をかたちに JA旅行センター

旅行センターからのお知らせ

デッキやパームコートやライブラリー（図書館）でのんびりと読書を楽しんだり、船内にあるシアター・ラウンジで映画やショーの見学やスポーツ施設やショッピングなど何でも揃っています。クルーズ客船は単なる輸送手段ではなく、船そのものが目的地のひとつとなるのがクルーズです。

お申し込み・お問い合わせは、
JAごとう旅行センターへ
電話 0959(72)6211

夏期農機自動車 大展示会のお知らせ

日時：7月24日(土)
午前9時～午後5時まで

7月25日(日)
午前9時～午後4時まで

場所：本店特設会場
展示品：農機具・自動車・電化製品
眼鏡・補聴器・作業服など

お問い合わせは...

JAごとう経済部 ☎(72-6585)まで
お気軽にお尋ねください。

編集後記

今月の広報紙は、子どもたちが大活躍の号となりました。今月号で紹介したとおり各地域、様々な形で食農教育が実施されました。元氣いっぱいの子どもたちと触れ合うことができ、私もとても楽しかったです。私も取材をしながら、初体験のトマト狩りを行いました。収穫しながら取れたてのトマトを食べるとい

贅沢はこれまで味わったことがなかったため、これもまた初体験。取れたてトマトのおいしさにびっくりしました。

実家にいたときは全く料理をしなかった私ですが、これだけおいしい食材があると、さすがの私も「料理が上手になるように頑張ろうかな」と思う今日この頃です。

(田上 幸菜)

